

科目名 「薬理学・歯科薬理学」

学年	学期	科目責任者
1	後 学期	山根 潤一
科目ナンバリング	B-4-③-I-12	
単位数	2	
学習目標 (G I O)	健康・疾病について、その成り立ちおよび予防と回復過程に関する知識を習得する。	
担当教員	山根 潤一 松本 裕子	
教科書	最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学 第2版 (医歯薬出版)	
参考図書	イラストでわかる 歯科医学の基礎 (永末書店)	
評価方法 (E V)	平常試験(1回)、期末試験を行いその平均点を最終評価とする。なお、平常試験における再試験は行わないが、レポートを科す場合がある。ただし、最終評価が60点に達しない場合には、追再試験期間に全範囲における再試験を行う。	
学生への メッセージ オフィスアワー	薬理学では、カタカナの薬物名が多く、覚えきれないとあきらめてしまう場合がありますが、初出の時に間違えずに覚えるようにしましょう。後回しにするとますますわからなくなります。復習をしっかりとやりましょう。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 9/30	総論1：薬理作用	<p>【授業の一般目標】 薬理作用の基本形式、薬物の作用機序、薬物の用量と作用、生体の感受性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A 薬理作用の基本形式を説明できる。 B 薬物の作用機序を説明できる。 C 薬物の用量と作用を説明できる。 D 生体の感受性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：薬理作用とは何か。 復習時間：60分、復習内容：薬理作用について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第2回 10/7	総論2：薬理作用	<p>【授業の一般目標】 薬物の併用、薬物の連用、薬物の副作用・有害作用について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 E 薬物の併用を説明できる。 F 薬物の連用を説明できる。 G 薬物の副作用・有害作用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：薬理作用とは何か。 復習時間：60分、復習内容：薬理作用について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一

<p>第3回 10/21</p>	<p>総論3：薬物の適用方法と薬物動態</p>	<p>【授業の一般目標】 適用方法、薬物動態、血中濃度推移について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 A 適用方法を説明できる。 B 薬物動態を説明できる。 C 血中濃度推移を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分，予習内容：薬物動態とは何か。 復習時間：60分，復習内容：薬物動態について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第4回 10/28</p>	<p>総論4：医薬品の分類 調剤</p>	<p>【授業の一般目標】 日本薬局方および局方薬、毒薬・劇薬・普通薬、麻薬、医薬部外品、処方せん、配合変化、保存方法、剤形について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 A 日本薬局方および局方薬を説明できる。 B 毒薬・劇薬・普通薬を説明できる。 C 麻薬を説明できる。 D 医薬部外品を説明できる。 A 処方せんを説明できる。 B 配合変化を説明できる。 C 保存方法を説明できる。 D 剤形を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分，予習内容：日本薬局方とは何か。 復習時間：60分，復習内容：日本薬局方について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第5回 11/11</p>	<p>中枢神経系に作用する薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 全身麻酔薬、催眠薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬、中枢神経興奮薬について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 A 全身麻酔薬を説明できる。 B 催眠薬を説明できる。 C 向精神薬を説明できる。 D 抗てんかん薬を説明できる。 E 鎮痛薬を説明できる。 F 中枢神経興奮薬を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分，予習内容：中枢神経系作用薬物とは何か。 復習時間：60分，復習内容：中枢神経系作用薬物について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第6回 11/18</p>	<p>末梢神経系に作用する薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔薬、自律神経作用薬について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 A 局所麻酔薬を説明できる。 B 自律神経作用薬を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分，予習内容：末梢神経系作用薬物とは何か。 復習時間：60分，復習内容：末梢神経系作用薬物について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>

<p>第7回 11/25</p>	<p>平常試験・解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 第1回～第6回までの講義内容について試験をする。 【行動目標 (SBOs)】  【準備学習項目・時間】 予習時間： 分, 予習内容 復習時間： 分, 復習内容 【アクティブラーニングの有無】  【学習方略 (LS)】 筆記試験、講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第8回 12/ 2</p>	<p>循環・呼吸系に作用する薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 循環・呼吸系に作用する薬物について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A 循環系に作用する薬物を説明できる。 B 呼吸系に作用する薬物を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分, 予習内容：循環・呼吸系作用薬物とは何か。 復習時間：60分, 復習内容：循環・呼吸系作用薬物について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第9回 12/ 9</p>	<p>血液に作用する薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 止血薬、抗凝固薬について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A 止血薬を説明できる。 B 抗凝固薬を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分, 予習内容：止血薬、抗凝固薬とは何か。 復習時間：60分, 復習内容：止血薬、抗凝固薬について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第10回 12/16</p>	<p>抗炎症薬</p>	<p>【授業の一般目標】 ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、抗ヒスタミン薬について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A ステロイド性抗炎症薬を説明できる。 B 非ステロイド性抗炎症薬を説明できる。 C 抗ヒスタミン薬を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分, 予習内容：抗炎症薬とは何か。 復習時間：60分, 復習内容：抗炎症薬について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第11回 12/23</p>	<p>ビタミン・ホルモン</p>	<p>【授業の一般目標】 ビタミン、ホルモンについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A ビタミンを説明できる。 B ホルモンを説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分, 予習内容：ビタミン、ホルモンとは何か。 復習時間：60分, 復習内容：ビタミン、ホルモンについて説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>

<p>第12回 1/20</p>	<p>病原微生物に作用する薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 消毒薬、抗菌薬について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A 消毒薬を説明できる。 B 抗菌薬を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：消毒薬、抗菌薬とは何か。 復習時間：60分、復習内容：消毒薬、抗菌薬について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>松本 裕子</p>
<p>第13回 1/27</p>	<p>歯周疾患・口腔粘膜疾患に用いる薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周病治療薬、口腔用薬について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A 歯周病治療薬を説明できる。 B 口腔用薬を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯周疾患・口腔粘膜疾患に用いる薬物とは何か。 復習時間：60分、復習内容：歯周疾患・口腔粘膜疾患に用いる薬物について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>松本 裕子</p>
<p>第14回 1/29</p>	<p>歯・歯髄疾患の治療に用いる薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 歯内療法薬について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A 歯内療法薬を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯内療法薬とは何か。 復習時間：60分、復習内容：歯内療法薬について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>
<p>第15回 2/5</p>	<p>齶蝕予防に用いる薬物</p>	<p>【授業の一般目標】 齶蝕予防薬について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 A フッ化物を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：齶蝕予防薬とは何か。 復習時間：60分、復習内容：齶蝕予防薬について説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>山根 潤一</p>